

ほうこく保育園  
保護者の皆様

ほうこく保育園  
園長 筑波晃英

### 本園における新型コロナウイルス感染症対応についての重要なお知らせ

保護者の皆様におかれまして、日頃から本園の保育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、9月10日に当園の園児に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認され、同月17日に職員の陽性者確認のお知らせをいたしました。9月17日のお知らせの際には、濃厚接触者が園内では確認されていない事から、通常では感染確認の検査は必要のない所、関係当局のご配慮により、全職員と一部の園児の検査を実施いたしました。その結果は検査者全員が陰性だったことは、18日にお知らせした通りです。ひとまずは安心して頂けたかと思いますが、保護者の皆様には不安を抱えておられることと思います。子ども達や保護者の皆様が不安を抱かれたことに対して大変申し訳なく思います。この度のお知らせは少し長くなりますが、詳しい経緯をお伝えしたいと思います。

現在、姫路市では保育施設内に陽性者が確認されると、姫路市の担当局である「幼保連携政策課」と陽性者の居住地の「保健所（防疫課）」に連絡を取り合うこととなります。

先ず保健所の方から施設並びに関係者に聞き取り調査が行われます。施設への聞き取り調査につきましては、当園で行っている保育での感染症対策として以下のようなことが聞き取りされます。

- ・在園児は登園する前に必ず検温し、熱があれば登園できない事、登園時の同伴者も同じで、それは職員が確認している
- ・3歳児以上は原則マスクをし、職員も保育中は原則マスクをしている
- ・食事をする時は、2歳児以上はアクリル板を設置し、飛沫を防ぐようにしている
- ・職員も食事中は正面になる事を控え、1～2メートルの間隔を取っている
- ・手指の手洗い消毒を頻繁に行うように指導している
- ・子どもたちの登園前と降園後に分けて施設の消毒を職員が行っている

以上のようなことを主に聞き取りされます。また、就寝時は出来る限り 1メートルの間隔をあける事、それが不可能ならば保育上適切かは分からないが、頭と足を交互にして就寝する事など様々な事を報告いたします。

それらの上で、9月10日も9月17日もほうこく保育園内での感染予防対策は徹底されており、濃厚接触者は園内にはいないと確認されております。濃厚接触者がいないという事は、それまで通りの保育で差しさわりのないという事です。それでも私たち感染症の専門家でないものからすれば、不安を全て解消する心情には至らなかった経緯を、関係機関に伝え、抗原定量検査を受けさせて頂いた次第です。その後検査者全員が陰性であったことはお知らせした通りであり、この場をかりて、大変な業務の中対応して下さい、保健所や幼保連携政策課、また検査にご協力頂いた保護者や子どもたちに感謝の意を伝えたいと思います。

今回改めて申し上げるように、新型コロナウイルスに感染することは万全を期しても防げない事と思えますし、それは誰を責める事でもないことと思えます。もちろん誰一人掛かってほしくないという気持ちは、誰もが同じだと思います。そんな中で不安な気持ちから誰が感染したのか、どこから感染したのか、なぜ公表しないのかなどの不安が蓄積されていることと思えます。

このような不安な状況の中でも、私たち保育者、職員一同は「子ども一人ひとりの今が輝く」ために、保護者や関係者の皆様と共に普段の保育業務と、その上感染症予防対策を施しながら、精一杯子ども達の為に保育園を開所し、保育していこうと努力しています。

改めて今回の感染症対応について、子どもたちや保護者の皆様には多大なご負担を頂いていることに関しまして、大変申し訳なく思っております。

それでも私たちは、全ての子どもたちの為により良い保育が出来るように日々邁進し、合わせて引き続き感染症対策にもできる限りのことをしてまいります。以上の事を保護者の皆様にもご理解頂きたく思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。